

地域ネットワークだより

MBCふるさとプロジェクト第2弾

MBCは今年度、県や市町村と連携して、テレビ・ラジオ・WEB・SNSなどで地域の魅力を発信し、ふるさとを元気にする集中プロモーション「MBCふるさとプロジェクト」をスタートさせました。

第2弾は、開幕まで100日あまりに迫った「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」を盛り上げようと、1972年の太陽国体以来、51年ぶりとなるビッグイベントに向けて、練習に励むアスリートや選手を支える方々を応援する「かごしま国体・かごしま大会100日前ウィーク」を6月26日(月)から1週間展開しました。

かごしま国体・かごしま大会 100日前ウィーク



テレビは「かごしま4(月～金/午後3時49分～)」で連日、活躍が期待される県代表選手のインタビューや県内各地の地域メディアから寄せられた開催地情報を紹介したほか、「MBCニュースナウ(月～金/午後6時15分～)」では馬術競技で上位入賞を狙う高校生の奮闘や奄美で初めて行われる相撲競技に挑む地元役場職員の特集をお届けしました。

また、「あの日のかごしま(月～金/午後6時55分～)」では太陽国体の炬火リレーや秋季大会の開会式など、懐かしいアーカイブ映像を日替わりで放送しました。

ラジオは「城山スズメ(月～金/午後1時30分～)」に県内の障害者スポーツ指導者や、国体を支える自治体担当者に電話インタビューで生出演いただきました。

そして7月2日(日)は、鹿児島市のアミュ広場で行われた開催100日前イベント「スポーツフェスタ2023」の会場からラジオの公開番組を生放送しました。番組には塩田知事や来年の開催県、佐賀県の山口祥義知事のほか、大会テーマソングを作曲したシンガーソングライターの辛島美登里さんらが出演し、待ち望んだ国体の開催に向けてそれぞれの思いを話していました。



MBCではこれからも「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の準備期間から本番、開会式に至るまで、奮闘するアスリートやそれを支える皆さん、市町村のおもてなしなどを多角的にお伝えしていきます。



屋久島初の公式アプリ 「やくしまアプリ」配信スタート



1993年12月、屋久島は東北の白神山地とともに日本で最初に世界自然遺産に登録されました。登録から今年で30年目を迎えます。その屋久島で、初の公式アプリ「やくしまアプリ」がこのほど完成し、7月にリリースされました。

「やくしまアプリ」は屋久島を訪れる観光客に旅のお役立ち情報を提供するほか、「屋久島を深く知りたい、学びたい」というニーズにも応えようと屋久島環境文化財団がMBCと開発しました。その主な機能をご紹介します。



01.GPS機能

アプリとGPSが連動し最奇りの観光情報を表示します。多言語化にも対応しており、紙を持ち歩かず、スマホで情報を入手できます。



02.お知らせ機能

イベントや祭りの情報などをPUSH通知でお知らせします。



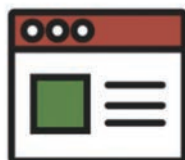
03.観光案内・FAQ

観光案内ページに加え、屋久島旅行でのよくある質問を閲覧できます。旅行前の情報収集に役立ちます。



04.写真と動画

写真や動画を投稿したり、閲覧できる機能です。旅の思い出の写真や動画をアップすることで、旅行後も屋久島旅行の余韻を楽しめます。



05.やくしまじかん

屋久島で暮らす人々や里の風習、エッセイや動画を掲載しているWEB「やくしまじかん」のコンテンツを閲覧できます。



06.屋久島ファンクラブ

屋久島環境文化財団ファンクラブ会員向けの会報誌やファンクラブ特典をアプリでも展開します。(予定)



「やくしまアプリ」PRのため屋久島環境文化財団の内田大信さんと財団のマスコットまるりんがMBCテレビ方の情報番組「かごしま4」に出演しました。内田さんは「屋久島全体のファンを増やしたいと今回、初の公式アプリをリリースしました。お持ちのスマートフォンに『やくしまアプリ』をダウンロードすることで、いつまでも屋久島のことを思い続けて頂ければうれしいです」と話していました。

屋久島初の公式アプリ「やくしまアプリ」は無料でダウンロードできます。アップストア、グーグルプレイから「やくしまアプリ」で検索してください。



「わが島」の情報発信!



前号に続き、それぞれの地域にこだわり、そのエリアの最新的话题を紹介しているMBCラジオの番組をご紹介します。今回は鹿児島が誇る2つの世界自然遺産の話題をお伝えしている「やくしまじかん」と「あまみじかん」です。番組では世界的に評価されている自然だけではなく、受け継がれてきた歴史、文化、人。そして、そこにゆったり流れる時間の豊かさをお届けしています。



やくしまじかん
Yakushima Time



毎週土曜 午後4時半～
パーソナリティ 森万由子アナウンサー

2015年7月にスタートしたラジオ番組「やくしまじかん」は、森アナウンサーが屋久島の豊かな自然の麓で多様性のある暮らしをしている皆さんと楽しくおしゃべりしながら、最近の気になる話題をお伝えしています。

7月1日の放送では、屋久島町宮之浦で「一湊珈琲焙煎所」を営む高田みかこさんが屋久島在住の水中写真家・高久至さんの最新の写真絵本「コブシメがやってきた!」を紹介してくださいました。

コブシメは奄美や屋久島など温暖な海域に生息する大型のコウイカで、大きいものは頭の部分の長さが50cm以上に成長します。高久さんは屋久島に移住してきた14年前からコブシメの撮影を始め、捕食やオス同士のケンカ、求愛、産卵、体色変化など、生態の貴重なシーンを撮りだめてきました。「ここ数年は誰よりも多くコブシメを撮影してきた」と自負する高久さんですが、「まだまだ分からないことが多く、写真も全然撮り切れていません。でも、分からないところが海や自然の魅力です」と語ります。

また、高久さんが撮影を担当し、去年出版された写真絵本「うまれてくるよ 海のかな」は、今年度の青少年読書感想文全国コンクールで小学校低学年の部の課題図書に選ばれています。この中でも屋久島近海の生き物が多く掲載されており、紹介して下さった高田さんは「屋久島は山の印象が強いですが、海もこんなにきれいなんだということを知ってもらえるとうれしいです」と話していました。



あまみじかん
Amami Time

毎週土曜 午後1時～
パーソナリティ 豊平有香アナウンサー

毎週土曜日の昼下がり、MBCラジオから聞こえてくるのは三線(サンシン)の音色。「あまみじかん」は、「やくしまじかん」がスタートして1年後、奄美大島や徳之島が世界自然遺産の登録を目指していた2016年7月に放送を開始しました。豊平アナウンサーが奄美群島の独自の文化や人、最新的话题などをご紹介します。

「教えて!あまみんちゅ」は、奄美群島で活躍する方や奄美にゆかりのある方に登場していただくコーナーです。6月24日は、奄美市立奄美博物館の学芸員・平城達哉さんに、7月30日に鹿児島市平川動物公園で開かれる世界自然遺産2周年記念イベントについて話を伺いました。

イベントでは年に100日以上は奄美の森に通うという平城さんが奄美の生き物の魅力や奄美が世界自然遺産に選ばれた理由などについて講演するほか、平城さんの案内で園内にあるアマミトゲネズミやルリカケスの飼育場を見学できるそうです。



▲アマミトゲネズミ



▲ルリカケス

「KODAIのゆいらんどMusic」は、喜界島在住のシンガーソングライター KODAIさんが奄美ゆかりの音楽を紹介するコーナーです。この日は沖永良部島のバンド・バンシローズの「SHIMA暮らし」や沖永良部島和泊町出身の歌手・大山百合香さんの「童神(わらびがみ)」など、奄美の豊かな音楽シーンが感じられる選曲でした。



テレビ番組「かごしま4（月～金/午後3時49分～）」で放送した各地のメディア発の話題です。

平山小学校で どろりんピック



MCTケーブル☆ネット（6月28日放送）

霧島市国分川内の平山小学校は全校生徒7人の小さな学校です。学校では子どもたちに稲作体験を通じて環境保全や生態系の大切さを学んでもらおうと、学校近くにある約8アールの休耕田を「ふれあい学習田」として活用しています。6月7日は、田植え前の水を張った学習田で「どろりんピック」が行われました。「どろんこビーチフラッグ」は15メートルほど先に置いたカラーコーンにタッチする速さを競い、「どろんこリレー」はボールを乗せたプラスチックのそりをリレーします。中には足を取られて転倒し、盛大に泥をはね上げる大人の参加者もいて、田んぼの周りは賑やかな笑い声で包まれていました。「どろりんピック」が終わると、早速田植えが行われ秋に収穫する米は校区の文化祭で販売されることになっています。



ミロコマチコさん 奄美で初の個展



エフエムたつごう（7月6日放送）

奄美大島・龍郷町在住の画家で絵本作家のミロコマチコさんの個展「あっちの耳、こっちの目」の話題をエフエムたつごうの西桂吾さんが伝えてくださいました。会場には個展のタイトルにもなっている6点の立体絵本のほか、ミロコさんが奄美に移住した後に制作した作品などが展示されており、独特のタッチと色使いで表現された作品はどれも迫力満点です。

ミロコさんは、移住前はカモシカやライオンなど実在する動物を描いていたそうですが、移住後は「目には見えない、自分が奄美で感じ取った生き物たちを描くようになった」と語っていて、奄美の自然から受ける目に見えない力がミロコさんの作品に影響を与えているようでした。

ミロコさんの奄美での初の個展「あっちの耳、こっちの目」は、9月29日まで龍郷町戸口の私設美術作品収蔵庫「THE倉庫」で開かれており、入場は無料です。



薩摩川内市の3チーム インターハイへGO!



北薩こいごい情報（7月12日放送）

今年の高校総体は7月22日、北海道で開幕します。鹿児島県からは28競技32種目に約560人が出場しますが、このうち薩摩川内市から出場する3チームの意気込みを「北薩こいごい情報」として泊亜希子さんが伝えてくださいました。

バスケットボール県代表は男子が川内高校、女子がれいめい高校でアベック出場となりました。かつてない激戦を勝ち抜いた川内は、球際の強さが持ち味です。初戦の相手は強豪の愛知・桜丘ですが、「地に足を着けて全員で初戦突破目指します」と山元獅土キャプテン。

去年、決勝で涙をのんだれいめいは、5月に地獄の合宿を行っ

て絆を深めてきました。窪園優奈副キャプテンによると「みんな明るくて個性的。学年は関係なく仲がよいチーム」だそうです。目標はベスト16です。

男子バレーボールに出場する川内商工は、3年連続4回目のインターハイ出場。全国ベスト16を経験している3年生にとって集大成となる大会です。大会直前には全員が丸坊主にして気合を入れるそうで、目標は悲願の日本一です。

バスケットは男女とも7月24日から札幌市で、男子バレーボールは8月7日から旭川市で試合が始まります。

